

# の幸せは子どもの幸せ」



ママ・パパが周りの人の助けを受けながら安心して子育てができることが、子どもの幸せにつながります。周りの人は、子育て中のママ・パパが幸せになるよう応援やサポートをしていきましょう。また、先輩ママ・パパの皆さんも「自分はこれで子どもを一人前に育てた」なんて肩肘はらず、ママ・パパのやり方で子育てを応援していきましょう。



## 子育ての応援隊のみなさんへ

### ◆子育ての今の「当たり前」を学びましょう

ママやパパから「△△はしないで」と伝えるのはつらいもの。おばあちゃん・おじいちゃんになったら、今の常識を学びましょう。

例えば「大人が噛み砕いたものを与える」「抱き癖がつくので、抱っこは控える」「赤ちゃんの時のお風呂上りの湯ざましや日光浴」など以前当たり前だったことが今では当たり前でなくなっています。虫歯予防からも大人が噛み砕いたものを与えることはやめておきましょう。

### ◆子どもの一番はママ・パパ。その順番を変えようとしないようにしましょう

どれだけ、おばあちゃん・おじいちゃん等が大好きでも子どもにとって1番はママ・パパ。周りの方は子どもにとってママとパパが一番であるよう「やっぱりママ・パパが一番ね」とサポート役に徹しましょう。

### ◆食べ物は、ママ・パパに確認しましょう。

今の子ども達は、アレルギーを持っている子が増えています。食べ物にはママ・パパは特に気をつけています。ママ・パパに確かめてから食べ物を渡しましょう。



### ◆どんな時もママ・パパを責めないようにしましょう。誰でも初めては不安です

初めての子育て。ママ・パパはとにかく不安がいっぱいです。子どもが泣き止まないとき、高熱を出したときなどはママ・パパを責めず思いやりのある言葉をかけましょう。何気ない一言であっても不安なときに責めた言葉は想像以上にママ・パパを傷つけることになります。



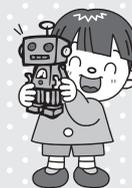
### ◆子どもを育てるのはママ・パパが主役。「イクメン」「イクジイ」を育てましょう

子どもに関わる一瞬一瞬がその時にしかない宝物の時間です。その宝物の時間をママやおばあちゃんばかりが味わってはもったいない。オムツ替え、沐浴、遊ぶ時間など、パパやおじいちゃんも味わいましょう。特にパパ方のおばあちゃんはママと一緒に、パパをイクメンに導きましょう。



### ◆「甘えさせる」と「甘やかす」ことの違いを覚えましょう

子どもの「本を読んで」「遊んで」「抱っこして」に応えるのは甘えさせること。「物を買って」に応えるのは甘やかすことです。何を子どもに買い与えるのかはママ・パパが決めること。例えば服などもママとパパが選んで好きに着せるのが一番です。誕生日など特別な贈り物も、ママ・パパに相談してみましょう。





# 合言葉は「ママ・パパ」



## ママ・パパへ



◎子どもにとって甘えられる場所は必要。「甘やかさないで」をぐっとこらえることも必要です

ママやパパに叱られた子どもが、おばあちゃんやおじいちゃんに助けを求めることもあるかもしれません。子どもにとって甘えられる場所は心の安定のためにも必要です。子どもはちゃんとママ・パパの大切さを分かっています。



◎子どもを叱ってくれる人はありがたい人。決して親を責めている訳ではありません

ママやパパ以外の人に叱られるのは子どもにとってママやパパに叱られる何倍もの効果があります。イヤイヤ期などの大変さは多くの方が経験しています。その苦勞を知って、子どものために叱ってくれている方が多いです。決して親を責めている訳ではありませんので、子どもが叱られることを嫌がらずに叱ってくれる人がいる場所でどんどん子どもを成長させましょう。

## 「子どもを預かってほしい」という声にお応えして

### 町内の取り組み

近年、子どもを育てる社会環境・家庭状況の変化に伴い、保育所への入所希望者が急増しています。このような保育ニーズの高まりに対し、町では、次のような取り組みを行っています。

#### ★第二わらべ保育園の開園

平成26年4月に、社会福祉法人日野福祉会により、大窪の町営住宅跡地に第二わらべ保育園（60人定員）が開園しました。園児と地域住民との交流も盛んに行われ、子ども達の元気な声が園庭に響いています。

#### ★町立保育所こばと園を改築し、定員を増やします

園舎の老朽化に伴い、町立保育所こばと園（三十坪）の改築工事を行っています。

園舎は年内には工事を終え、現園舎から引っ越す予定です。

新園舎では定員増に対応するとともに、手狭だった園庭も拡張し、保育環境を充実させます。

## 不安や心配事何でも相談してください

誰でも育児に不安はつきものですが、「子育て」が「孤育て」にならないよう不安や心配事は相談してください。地域の方もさまざまな機関もみんなが子育ての応援隊です。

| ところ            | とき                         | 連絡先            |
|----------------|----------------------------|----------------|
| 子育て・教育相談センター   | 月～金曜日 8:30～17:15           | ☎③3838         |
| わらべ地域子育て支援センター | 月～金曜日 9:00～17:00           | ☎⑥1910         |
| 保健センター         | 月～金曜日 8:30～17:15           | ☎②6574         |
| 役場福祉課          | 月～金曜日 8:30～17:15           | ☎②6573         |
| つどいのひろば「ぼけっと」  | 月・火・木 第2日曜日<br>10:00～15:00 | ☎080-2523-4504 |

## 子育てボランティア募集

町の事業などで子どもの見守りなどをしていただく、子育てボランティアを随時募集しています。年齢・性別等は問いません。あなたの空いた時間をボランティアに生かしてみませんか。

活動例：保健センターの食育講座やつどいのひろば『ぼけっと』でのこどもの見守り

ボランティアの登録や問い合わせは下記までお願いします。 ◆問い合わせ先 福祉課 ☎②6573